

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 市民-21 市民農園事業 <input type="checkbox"/> 支援部門						
主管課	産業振興課	関連課					
分野名	産業振興						
目標 (目標値)	市民生活と密着した都市農業の振興						
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考		
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯			
	事業の対象者数	65人	65人	65人			
事業費(千円)	1,311	782	1,771				
運営資源状況	(国・県)	0	0				
	(負担金等)	951	782				
	(一般財源)	360	0	1,771			
	人員配置数	0.7人	0.6人	0.8人			
	人件費(千円)	5,494	4,911	7,139			
	協働のパートナー						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	6,805	5,693	8,910			
	市民1人当りの経費(円)	38	32	50			
	対象者1人当りの経費(円)	104,692	87,585	137,077			
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
市民農園区画利用率	◎	目標値	100%	100%	100%	100%	100%
		実績値	100.0%	100.0%	93.0%	100.0%	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
市民農園事業	1,311	市民農園事業	1,246	今後の方向性	B	理由・手法	市民が農作業を行うことにより、農業への理解が得られるとともに、農地の活用が図られる。
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	大船地区市民農園の土地継続使用に係る調整を行う。 農地相談会を活用し、土地所有者による新規市民農園開設に向けた調整を行う。						
課題解決のための取組	大船地区市民農園の土地継続使用に係る調整を行い、契約更新をした。第9期の利用を継続、市民農園の管理・運営を行った。また、第10期の利用のための整備を実施した。					取組の結果	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題	農地相談会を活用し、土地所有者による新規市民農園開設に向けた調整を行う。						
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)		➡	①効率性	○	②妥当性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	・今後の大船地区市民農園の運営について、土地所有者との調整を図る。 ・土地所有者自らが運営する市民農園の開設について、農地相談会などを利用し、積極的に支援を行っていく。					③有効性 ○ ④公平性 ○	B
	※□事業完了						

評価者名

産業振興課長

茶木 久美子

